

小倉記念病院 循環器内科日より

# つなぐ

Vol.45

2021.7月

これまで、下肢虚血疾患に対しては血管内治療やバイパス術による血行再建術が行われてきた。しかし、糖尿病や慢性腎不全患者さんは高度な慢性下肢虚血疾患を有することが多く治療が回復せず潰瘍が難治性となる場合がある。

潰瘍を伴う重症下肢虚血が進行すると下肢切断や死亡リスクが高まり、患者さん自身のあしで帰ることが困難となってしまうため、新しい医療が待ち望まれていた。

2021年夏、重症の閉塞性動脈硬化症に対する吸着型血液浄化療器が登場。浄化された血液を再び体内に戻す体外循環治療で、治療成績は血行再建不応の潰瘍・壊疽を有する閉塞性動脈硬化症患者に対して、治療開始後24週間の観察期間内で対象病変治癒率は45.9%となつている。

歩くことは人生そのものだ。新たな医療が明日への歩につながるよう、私たちも患者さんと共に歩んでいく。



第54回

# 小倉循環器内科セミナー

2021年 8月5日(木) 18:00~18:45

共催 / 小倉記念病院 循環器内科 アストラゼネカ株式会社



## 左室収縮保持性心不全診療 における今後の課題 ～高K血症に対する対応も含めて～



座長

小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児

講師

熊本大学大学院生命科学研究部

循環器内科学講座 診療講師 **山本 英一郎**先生

### 参加方法



## ZOOMによる web参加のみとなります!

zoomの事前登録は不要ですが、  
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。

### PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研修会→④Zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



### スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで  
いただくと参加が可能になります。

